有根

書道研究
有根会 本部
〒496-0812
愛知県津島市兼平町1-92-1
TEL･FAX 0567-69-6925
発行　編集部

会長
松下 英風

今年の十干十二支「癸卯」は停滞していた世の中が芽吹き花咲く助走の年といわれています。「寒気が緩み萌芽を促す」これまでの努力が実を結び、勢いよく成長し飛躍する年になると考えられています。

二〇二〇年から始まった新型コロナウイルス感染症は、感染拡大と収束を繰り返し少し落ち着いてきて、五月から5類となります。

段々と陽気が良くなり各展覧会にも活気が出てきました。皆さんもコロナの中、気力を無くさないよう書に励み、その効果が今回の有根会書展にあらわれたと思います。

さて、そうは申しましても、気力が続かなかった方もいます。大変悲しく、役員の先生方や会員の皆様も同じ気持ちだと思います。

これからは、役員の改選、会員の増強をはかり、一丸となって会を盛り上げて行きたいと思います。

第九回日展（２０２２）　萬葉集二首　松下英風　２００×６０

山超乃　風乎時自見　寐夜不落　家在妹乎　懸而小竹櫃
玉刻春　内乃大野爾　馬數而　朝布麻須等六　其草深野

「松下芝堂美しき淡墨の書の世界」展 鑑賞

研究部長　黒野芝香

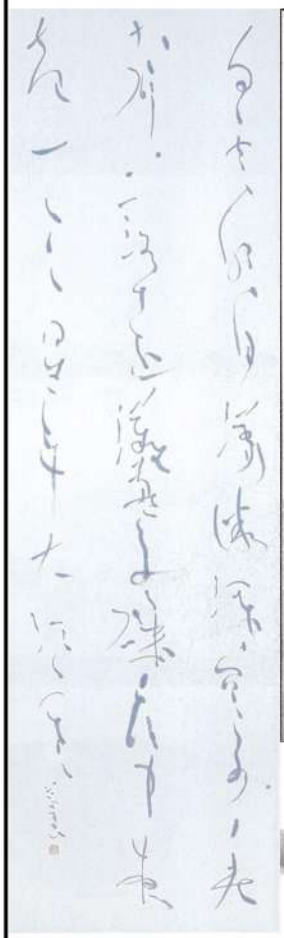
春日井市道風記念館において松下芝堂先生の企画展が、令和四年十月二十一日から一カ月間、開催されました。有根会研究部で早速計画をたて、十一月十五日に、出席者二十五人、現地集合で会場に入りました。

松下芝堂先生は、お若い時から、佛心をお持ちだったと思います。「般若心経」や「南無阿弥陀仏」も安心できる心の世界を字で表現され、改めて感銘を受けました。漢詩作品は、流れ、空間、墨色も落ち着いて、心地よく感動しました。「空」作品のように、おおらかな作品は元気を頂き、書の世界の皆様も楽しくなる作品は嬉しいです。

お茶碗がありましたね。伊藤幽石先生の知人の陶芸家の先生宅へ、芝堂先生が二、三回出かけられて制作され、「いい作品ができて楽しみだぞ」と、今は亡き幽石先生が嬉しそうに話されたお顔を思い出しました。

臨書作品、若い頃より古典を幅広く学ばれた瑞々しい作品も陳列されていました。日展文部大臣賞を受賞された代表作「江行」も燦然と輝いていました。

会場にて吉田景堂先生にお会いすることが出来、びっくり！「これは芝堂先生のお導き…」と小躍りしました。芝堂先生の書の世界を堪能して、食事処で舌鼓。勉強になり、楽しくて良かったとのお声を聞き、安堵すると共に、改めて芝堂先生にご指導を乞うた幸せをかみしめ帰路に着きました。



「江行」
（豊橋市美術博物館蔵）

第５３回 有根会書展　役員作品

二度とない　常任顧問　三神榮軒　全紙

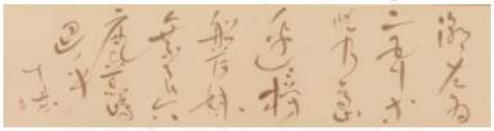
守破離　会長　松下英風　3×6

特別出品　鳥歌花舞　故 松下芝堂先生　半紙

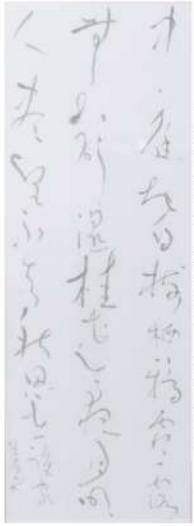
南北東西　常任理事　黒野芝香　全紙

平寛　副会長　古川昇史　½半切

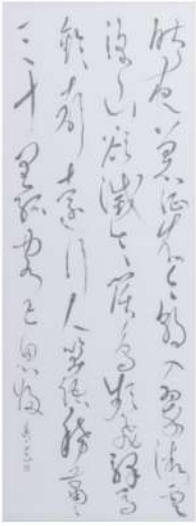
私は　常任理事　庄田翠苑　全紙



万葉歌　副会長　加藤矢舟　半切



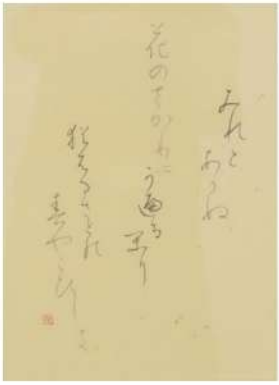
十五夜望月　副理事長　本間翠眉　3×8



函山雑咏　副理事長　永谷恵子　3×8

良寛詩　常任理事　中尾芝菜　3×6

雲従龍風従虎　常任理事　落合玉泉　3×6



春のうた　常任理事　加藤香雪　半切(部分)

第五十三回有根会書展
第三十九回公募展

常任理事
松下三雪

今年は、トリエンナーレの影響で、愛知県美術館ギャラリー八階E・F室にて、二月二十八日から三月五日迄開催いたしました。

一月になっても案内はがきが届かないので心配する声を頂戴いたしました。「有根会書展」イコール「一月開催」が定着していることを有難く嬉しく思いました。それでも、中日書道会の先生方や翠軒系の先生方、千名程の大勢の方にお越しいただきました。

三年前から始まった企画展のテーマは「干支　卯」です。会場入り口で、様々なウサギに関する言葉が飛び跳ねて、お客様をお出迎えしておりました。

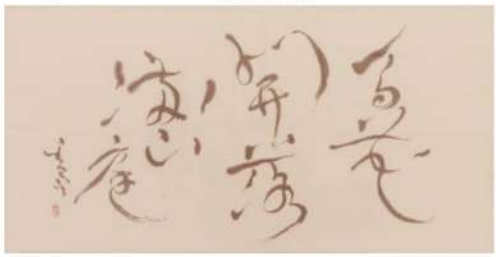
会員展では、松下芝堂先生の「鳥歌花舞」は鳥の子紙の色紙に柔和な線で書かれており、春にぴったりの作品でした。三神榮軒常任顧問の「二度とない人生だから」は、張りのある線が、九十歳とは思えない若々しさを感じるとともに、心に響き、エールをいただいた方が多かったのではないかと思います。松下英風会長の「守破離」は、漉きっぱなしの独特の楮紙に、空間の妙や、はみ出さんまでの勢いのある線は、来場者を魅了していました。今回の題「守破離」とは、芸能、芸術における思想のプロセスを表しているものです。まず、先人の教えを守るところからはじまり、習得できたらその型を破る。最終的には独自に発展させ、型から離れた己のスタイルを確立することをいいます。「守」があってこその「破離」

今一度、こころして励んでいきたいと心に誓った展覧会となりました。

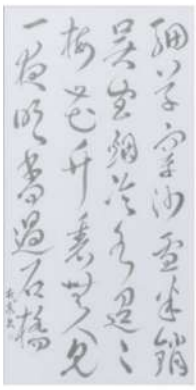

寿　常任理事　藤村真徳　2×8

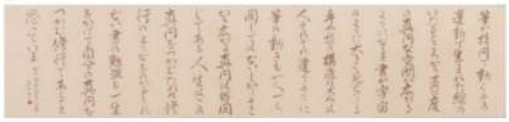

星　常任理事　松下三雪　3×6


王維詩　理事　内山雅舟　2×8


百花開落満山庭　常任理事　村上雪山　全紙

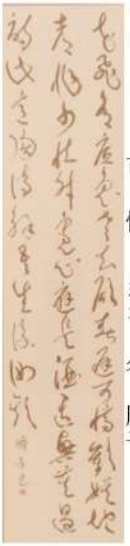

山頭火の詩　理事　橋口たず子　½全紙


細草穿沙雪半銷　理事　川松杷泉　全紙


真円(まんまる)　理事　夏目美沙　2×8

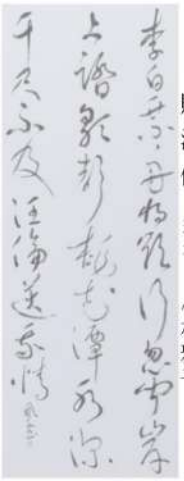

呉蘭雪詩　理事　藤井秀堂　2×8


春暁　監事　岡田愛子　4×8

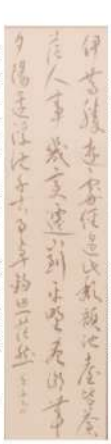

可惜　理事　谷順子　2×8

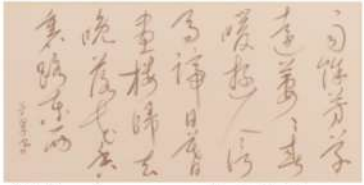

殷遥詩　理事　鷲野春翠　2×8


百人一首　理事　加藤翠林　巻子(部分)


贈汪倫　理事　小林雅子　3×6


七言二句　理事　遠山翔雅　2×8


良寛詩　監事　倉知葉舟　半切


春城の曲　理事　粕谷芳翠　全紙

芝堂大賞を受賞して

岡田愛子

この度は芝堂大賞という身に余る賞をいただきまして誠にありがとうございます。感激で胸がいっぱいです。今回は少しいつもと違う感じで書いてみたかったので、色々あれこれ考えているうちに、二・八の紙を二枚合わせて四・八という形で仕上げた作品です。先生に色々とご指導・アドバイスをいただきまして感謝致しております。まだまだ未熟者ですが、少しでも有根会が盛り上がればと思い書きました。好きな事をずっとこれからも続けていけるよう健康に気をつけて、楽しくやれたらと思っています。今後ともよろしく御指導賜りますようお願い申し上げます。


第５３回有根会書展


第３９回公募展


芝堂準大賞　小林雅子


芝堂準大賞　内山雅舟


芝堂大賞　岡田愛子

第十回記念有根会書初め 公募展を終えて

教育部長　本間翠眉

令和五年二月二十八日（火）～三月五日（日）まで愛知県美術館ギャラリー八階E・F室廊下壁面にて、出品点数一二六一点のうち有根会会長松下英風先生はじめ役員の先生方の審査により優秀作品百三十二点が展示され、思わず足を止めるほどの力作ばかりでした。

表彰式はコロナウイルス感染予防のため中止。三月四日（土）五日（日）展覧会場にて、入賞通知のハガキと交換に、賞状・賞品の受け渡しを行い、また今回は十回記念で出品者全員にクリアファイル三枚セットをお渡しました。

最後になりましたが、協賛企業様（應天堂様・オフィスイズ様・伽藍様・菊屋商店様・吸月堂様・名古屋キョー和様・丸和様・みずの様）、有根会の皆々様のご協力に心より感謝申し上げます。

第10回記念書初め公募展　８Ｆギャラリー

第五十三回有根会書展 入賞者

芝堂大賞　岡田愛子

芝堂準大賞
内山雅舟　小林雅子

中日新聞社賞
大野　彩　安藤聡美
中村智惠子　河出長女
林　律翠

東海テレビ賞
伊藤祥子　青山芳柳
長谷川華風　岩田純子
美濃部純

第三十九回公募展 入賞者

愛知県知事賞　丹羽葉廣

有根会賞
神谷芝慶　青山蘭香
藤原和美

中日新聞社賞
白井麻美　飯谷朋子
森島光華　杉浦芹奈
内藤万記子

東海テレビ賞
鯉江矢雲　朝倉幸美
野々垣杏南
花木　巽　吉川佳子

秀作
髙見芝萌　松井香峰
花木廣子　長谷川美雪
髙柳藍玉　溝上廣舟
辻岡亨美　中尾美恵子
嶋貫有紗　小田哲廣
草木美里　太田奈穂美
川瀬実咲　與語　綾
柄澤信一　伊藤嘉子

令和五年度事業計画

◇四月二十九日(祝・土)
総会・作品研究会
愛知芸術文化センター(12階)
アートスペースE・F室

令和六年
◇一月十日(水)～十四日(日)
第五十四回有根会書展
第四十回公募展
第十一回書初め公募展
愛知県美術館ギャラリーE・F室

◇一月十三日(土)
書初め公募展表彰式
愛知芸術文化センター(12階)
アートスペースA室

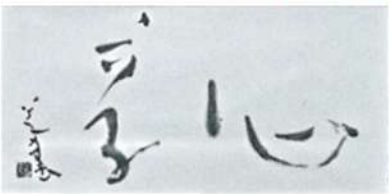
◇一月十四日(日)
有根会書展・公募展
表彰式及び懇話会
名古屋マリオットアソシアホテル

◇研修旅行　企画中

郷土の芸術家展

松下芝堂氏(書)

令和４年
10月28日[金]▶30日[日]
午前10時～午後５時
（３０日は午後３時まで）
津島市文化会館（小ホール）
津島市藤浪町３丁目89-10
TEL0567-24-1122



心音

大樹龍を呼ぶ　寿無涯

訃報

令和五年四月一日
理事 川松杷泉様 享年七十七歳
ご冥福をお祈り申し上げます

編集後記

コロナ禍、三年ぶりの研修会。芝堂先生のお若い時に書かれた作品、数々の古典臨書のびやかで瑞々しさに感動、代表作の「江行」など淡墨で表現された美しい書の世界を満喫しました。

郷土の芸術家展（津島市文化会館）初お披露目の作品に芝堂先生への思いを馳せ偲びました。芝堂先生が創設された有根会、英風会長へ引き継がれ「書道研究有根会」と改め、はや十四年、会員一同結束して頑張る時かと思います。

編集委員　永谷恵子　大野昭子
加藤翠林　小林雅子

ホームページ随時更新中
《書道研究　有根会》
どうぞご覧ください